

渋谷の荘だより

「今を生き 未来を担え 渋谷中生」 やまとしりつしづやちゅうがっこう
大和市立渋谷中学校



華道部 3年生共同作品

寒さの厳しい日は続きますが、学校では1月後半に2年生のトライワーク、2月に入り1・2年生の授業参観が実施され、コロナ禍で自粛していた行事を久しぶりに行うことができました。3年生は各自の進路決定に向けて前向きに取り組んでいます。一人一人の日々の学びが人生の糧になるよう、学校職員は切に願い教育活動に取り組んでいきたいと思っております。

2月朝会にて

「べき・ねば」の呪い 校長 清水 恭

皆さんおはようございます。3学期がスタートして1ヶ月が過ぎました。体調を崩したりしていないでしょうか。

今日は「べき・ねば」の呪いという話をします。私たちは目標を持ったときに、それを達成するために「こんなことをしよう」と考えて頑張っていくと思います。目標に向かって頑張ることはとても素晴らしいことです。ですが、「こうなりたい!」という気持ちが強くなりすぎて、そのために「こんなことを頑張ろう」という気持ちが「こうするべき」「これをやらねば」という気持ちに変わっていつてしまうことがあります。そうすると何のために頑張ることを始めたのかということよりも、それを頑張ることが目的になってしまい、頑張ることが苦しくなってくるのです。うまくいかない自分を責めてしまい、自分はダメな人間なのだと考えてしまいます。これが「べき・ねば」の呪いです。

自分以外の人に対しても同じです。この人とうこう接していきたい。この人にはこうあってほしい。人に対してそう考えることはごく自然なことですが、「こうであってほしい」が強くなりすぎて、「こうあるべき」と考えてしまうとその人のことが嫌になり、あの人はダメな人だと考えてしまうこともあります。とても悲しい考え方です。これも「べき・ねば」の呪いです。

皆さんは一人一人がとても素晴らしい存在です。ダメなはずがないのです。自分に対して人に対しても強く責める気持ちが湧いてしまったときは、一度立ち止まって考えてみてください。「べき・ねば」の呪いに縛られていると気づいたら、そんなものには縛られないぞと考え方を転換していきましょう。今学期も残り2ヶ月です。これからも伸び伸びと自分らしく学校生活を送っていきましょう。





こくさいこうりゅうかい 国際交流会

こくさいがっきゅうたんとう
国際学級担当

まるやまけいこ
丸山敬子

1月13日に国際交流会が行われました。在日期間が短く、日本語指導や放課後の学習支援を受けている生徒たちが、お世話になっている先生方の前で、日ごろの学習の成果を発表します。自分につながりのある国の素敵なところやおいしい食べ物について発表するのですが、今年度は初めてクロームブックを使い、スライドで発表しました。また、今年頑張ったことや来年の抱負を述べ、一人一人の一年間の成長の様子を感じることができました。お世話になっている外部指導者の先生方へのお礼の言葉も、堂々と感謝を込めて伝えることができました。

その後、百人一首を使った坊主めくりゲームをしました。初めてやった生徒も多く、日本らしい遊びに大いに盛り上がりました。

渋中国際教室にとって、とても大切な行事です。これからも心を込めて開催していきたいと思ひます。



とくべつしえんきゅう や いもこうりゅうかい 特別支援級 焼き芋交流会

とくべつしえんきゅうたん にん さかもと けい
特別支援級担任 坂本 啓

先月25日水曜日に、渋谷中学校の特別支援級では焼き芋交流会を実施しました。

焼き芋交流会とは、毎年支援級で育てたサツマイモを支援級の前の畑で、焼いて食べる行事です。

生徒たちは収穫したサツマイモをアルミホイルで巻いたり、焚火をする場所の整備をしたりと様々な作業を熱心に行いました。サツマイモが焼けると距離を取りながら自分たちで育て準備した芋を嬉しそうに食べていました。

渋谷中学校特別支援級の冬の風物詩となっており、今後も

食物の栽培を学びながら、生徒たちの自立性を育てながら続けていきたい行事です。

行事を通し渋谷中学校特別支援級の生徒の様々な活動を将来に繋がるものにしていきたいと思ひます。ご支援とご協力をお願いいたします。

